

Game Prep Report | 試合前レポート

Fighters Intelligence Lab(非公式・個人分析プロジェクト)

試合情報

対戦カード	福岡ソフトバンクホークス vs ファイターズ
試合日	2026年8月5日(ビジター)
球場	みずほPayPayドーム福岡
予想先発	北山(F) vs 未定(H)
データ更新日	2026年8月4日

Executive Summary | 要点まとめ

福岡ソフトバンクとの3連戦2戦目。初戦は伊藤大海の粘投も打線が9回無得点に沈黙し0-1の完封負けを喫し、通算成績は56勝44敗、パ・リーグ3位(首位と7.5差)のまま。先発は北山亘基(9勝3敗・防御率2.11)、相手は大津亮介(9勝2敗・防御率2.51)とともに好調な右腕同士の投げ合いになる。今季の対ソフトバンクは2勝13敗0分と大きく負け越しており、連敗を1つで止めることが最優先。直近5試合は3勝2敗(平均得点3.6・平均失点1.8)と守りは安定しており、先制さえ奪えれば(先制時勝率.679)十分に勝機はある一戦。

Matchup Focus | 対戦の注目点

Fighters	福岡ソフトバンクホークス
打線状態: 直近5試合で平均3.6得点。守りは平均失点1.8と安定しているが、前日は9回を通して無得点に沈黙した。	打線状態: 近藤健介(打率.310・OPS1.011・23本・79打点)、栗原陵矢(打率.255・30本・77打点)の中軸がリーグ最強クラス。
先発投手状態: 北山亘基が予告先発(16試合9勝3敗・防御率2.11・WHIP0.97)。今季ここまで安定感抜群も、対ソフトバンクは2試合0勝0敗・防御率5.73・WHIP1.36と苦手意識が見える相手。	先発投手状態: 大津亮介が予告先発(15試合9勝2敗・防御率2.51・WHIP1.06)。好調ながら対ファイターズは1試合0勝1敗・防御率5.14・WHIP1.00と、この一戦に限れば苦戦している相手でもある。
ブルペン状態: 前日は先発が試合をつくり、ブルペンへの大きな負荷はかかっていない。	チーム状態: パ・リーグ首位を独走。対ファイターズには今季13勝2敗と圧倒。
最近の試合傾向: 直近5試合3勝2敗、直近10試合6勝4敗。先制時勝率.679(38勝18敗)。	最近の傾向: 本拠地みずほPayPayドームでは中軸の一発で試合を決める展開が多い。

Game Plan Hypothesis | 試合プランの仮説

今季の対ソフトバンクは2勝13敗0分、初戦も0-1の完封負けと大きく負け越している。一方で先発の大津は対ファイトーズ限定では防御率5.14と抑えられている実績があり、初回から早い攻略で流れを引き寄せたい。近藤・栗原の中軸には走者を溜めた状態で回さず、一発による大量失点を避けること。北山は好調継続中だが対ソフトバンクは防御率5.73とデータ上は要注意カードであり、立ち上がりの入り方が今日の鍵になる。

Data Notes | データについて

使用データ	NPB公式サイト、公開されている試合結果・個人成績、イニングスコア等
集計対象期間	2026年シーズン、対象カードの過去対戦成績
データ取得日	2026年8月4日
データ入力方法	公開データをもとに手動入力、またはCSVインポートにより登録
注意事項	使用データ: NPB公式サイト(npb.jp)の試合結果・個人成績、プロ野球Freakの予告先発投手・イニングスコアを独自集計 集計対象期間: 2026年3月27日～8月4日(全100試合) 注意事項: 本レポートは非公式の個人分析であり、球団・NPBとは関係ありません。先発投手は試合前の予告先発情報であり、変更される可能性があります。

本サイトは北海道日本ハムファイターズ、NPB、その他関連団体とは関係のない非公式の個人分析プロジェクトです。